

運輸安全管理

2021年度

安全方針について

「社長をトップに全社員が輸送の安全こそが第一と考え行動する組織になる」

①国土交通省、関東運輸支局、ロケバス協会等での安全に関する情報を即時に社員に通達する。

②社長による講習の年3回実施

「安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練」

①運行管理者によるガイドラインセミナー、
リスク管理セミナー、内部監査セミナーの
受講

安全重点施策

「輸送の安全こそが最も重要であるという意識を徹底させる」

「関係法令及び安全管理規定に定められた事項を厳守する」

①年間指導講習にて意識を徹底させる

②運行管理者同士での会議にてお互いの理解を深め、再確認する。

経営トップの責務

「運輸の安全に関して、必要な処置を講じ、必要な予算を確保し、実施、管理が適切かを常に考える」

①点検整備計画表を元に、三ヶ月点検での整備必要箇所の整備、交換。

②ドライブレコーダーの毎月1日フォーマットにより、最新の状態で運行させる。

輸送の安全に関する目標

「重大事故0、クレーム0」

①重大事故0

②クレーム0

・重大事故0継続中。

・クレーム0継続中。

情報伝達、及びコミュニケーション 「ドライバーからの報告、連絡、相談の伝達」

①帰庫点呼時に運行管理者を通じ、業務関係はもちろん、プライベートの相談も聞き取り。

②必要事項をSNSを利用して共有。

輸送の安全に関する計画

「安全に関する教育目標をたてる」

①巻き込み事故0を目標

②ヒヤリハット情報の収集

安全投資

①新型コロナウイルス対策